

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00101133

2023年6月30日

発信課	社会教育部社会教育課
担当者	似里 ひとみ
連絡先	電話 0166-69-2004
	FAX 0166-69-2001
	E-mail museum@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日程	令和5年7月15日 9時00分 ~ 令和5年8月27日 17時00分
発表項目 (行事名)	旭川市博物館第97回企画展「故久保敬親写真展～生命の輝きを追い続けて」
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>趣旨 動物写真家・久保敬親さん(故人)から、生前旭川市博物館に寄贈された野生動物の写真パネルの一部(主に哺乳動物)を展示。</p> <p>とき 令和5年7月15日(土)から8月27日(日)まで。 開館時間9:00~17:00(入館受付は16:30まで) ※8月11日(金・祝)から8月15日(火)は19:00まで延長(入館受付18:30まで)</p> <p>ところ 旭川市博物館 特別展示室(旭川市大雪クリスタルホール内)</p> <p>内容 久保さんが、旭川近郊や大雪山、道北の野付などで長年撮影し続けた、野生動物の生き生きとした姿一大雪山中で出会ったキタキツネ親子の暮らしぶり、子ギツネの成長していく様子などの写真パネル。ほかに日本・北海道の野生動物の写真もあります。常設展示と併せてご覧いただくことができます。(要 博物館観覧料)</p> <p>《関連企画ーオープニング講演会》 「久保敬親さんの伝えたかったこと」 講師 久保俊枝さん</p> <p>とき 令和5年7月15日(土) 午前10時30分から午前11時30分まで</p> <p>ところ 旭川市博物館 特別展示室</p> <p>対象 どなたでも 定員 当日先着20名。</p> <p>お問合せ 旭川市博物館 0166-69-2004</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道(取材)に当たってのお願い	令和5年7月15日(土)午前10時30分から、企画展関連イベントとして妻 久保俊枝さんの講演会を実施します。詳しくはホームページをご覧ください。
備考	

故久保敬親写真展

～生命の輝きを追い続けて～



©Keishin KUBO

アイヌの歴史と文化に出会う

旭川市博物館
Asahikawa City Museum

2023. 7. 15 sat ▶ 2023. 8.27 sun

〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 旭川市大雪クリスタルホール内 TEL (0166) 69-2004

久保 敬親 (くぼ けいしん)

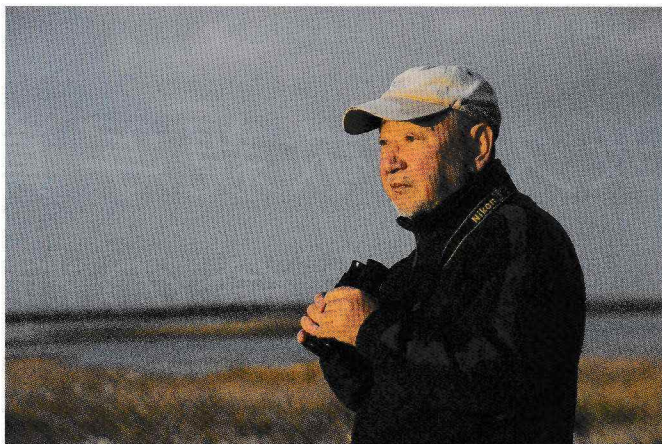
1947年 新潟県佐渡市生まれ

1970年 拓殖大学卒業後、フリーランスの写真家としてスタートする。

2000年 東京都新宿区から北海道標津郡中標津町に移住。

日本の野生動物の撮影をライフワークとし50年あまり活動。

2019年 肺がんのため死去。71歳。



写真提供 久保俊枝さん

念願であった“見て読んで楽しめる本”を作りたいという企画で『日本鳥類図譜』を出版することになるが、同時に病気が発覚。

2020年に出版できたが、手にすることはできなかった。スタート時点から哺乳類と二本立てで撮影してきたので、2022年に姉妹篇『日本哺乳類図譜』が出版され、これが生涯最後の本となった。

【主な仕事】

写真集出版、新聞・週刊誌への連載、写真展の開催、企業広告、アラスカ・中国・アフリカ等の海外取材、東京芸術大学非常勤講師 など

【写真集・著書】

『大雪山の動物たち』(1981 新日本出版社)、『キタキツネとの出会い』(1983 新日本出版社)
『シマリスの四季』(1984 新日本出版社)
『きつね』、『しまりす』、『のうさぎ』(「あかちゃんとおかあさんの絵本」それぞれ1987 金の星社)
『鳥 Birds』(1989)、『野生 Animals』(1992 ともに山と溪谷社)
『チップマunk』(1993 山と溪谷社)、『鳥影』(1996 山と溪谷社)
『Peace peace peace』(1996 七賢出版)、『野鳥賦』(1997 日本カメラ社)
『キタキツネの贈りもの』(1999 新潮社)、『エゾヒグマ 残された聖域』(1999 山と溪谷社)
『野生生物に出会う本』(1999 地球丸)
『日本野生動物』(2001 山と溪谷社)、『ヒグマの楽園』(2008 ポプラ社)
『キタキツネ』、『エゾリス』、『エゾシカ』、『ヒグマ』、『ラッコ』(それぞれ2010 新日本出版社)
『タンチョウのきずなー「日本の鶴」の一年』(2015 小学館)
『日本鳥類図譜』(2020)、『日本哺乳類図譜』(2022 ともに山と溪谷社) など

オープニング イベント

講演「久保敬親さんの伝えなかったこと」

講師 久保 俊枝さん (中標津町在住)
とき 令和5年7月15日(土) 午前10時30分から午前11時30分まで
ところ 旭川市博物館 特別展示室 (企画展会場)
対象 一般
定員 20名 (当日先着順)
参加料 常設展示室観覧料が必要

利用のご案内

開館時間：午前9時～午後5時
(入館受付は午後4時30分まで)

※8/11(金・祝)～8/15(火)は午後7時まで
(入館受付は午後6時30分まで)

入館料

	大人	高校生	小中学生
個人	350円	230円	無料
常設展 バスポート	700円	460円	—
団体(20名以上)	280円	180円	無料

◎バスポートは何度でも観覧でき、最初に観覧した日から1年間有効です。

交通案内



■ JR 旭川駅から
旭川駅南口西側よりクリスタル橋経由

■ バス
大雪クリスタルホール前バス停
(旭川電気軌道 93 道北バス 443)

神楽4条7丁目バス停
(旭川電気軌道 90/81
道北バス 39/40/43)